

堀江正夫先生を偲んで

衆議院議員 田中 和徳（日本・パプアニューギニア友好議員連盟会長）

令和 4 年 3 月 20 日、巨星墜つ。堀江正夫先生が享年 106 歳で逝去されました。

パプアニューギニアに関係する役職に携わりますと、必ずお名前があがる日本人が数名おられます。その中で最大のビッグネームは常に堀江先生です。

堀江先生は新潟県のご出身で、旧日本陸軍少佐の時、ニューギニア戦に第 18 軍参謀として参戦、ウエワク近くのムッシュ島にて終戦を迎えられました。復員後は宮崎県の奥様のご実家で過ごされ、義父のお勧めで当時の警察予備隊に入隊、自衛隊陸将として西部方面総監を最後に退官されました。その後、衆望を担い堀江先生は参議院議員選挙全国区に出馬、当選され政治家として活躍されました。

国会議員時代には、日本・パプアニューギニア友好議員連盟を創設、会長に就任され、両国の友好の礎を築かれました。そして、全身全霊をかけて、東部ニューギニアで亡くなった約十五万人にも及ぶ戦友の遺骨収集帰還事業の完全実施と両国の友好に取り組まれました。私も、堀江先生と共に厚生労働大臣等への要望に何度もお供を致しましたが、100 歳を超えていることなど全く感じさせない熱意と信念をひしひしと感じ、敬服致した次第です。

2014 年、堀江先生と私は、安倍総理（当時）のパプアニューギニア公式訪問に同行致しました。その際、ウエワクにて故マイケル・ソマレ パプアニューギニア初代首相と安倍総理の会談にも堀江先生は同席され、遺骨収集帰還事業への更なる協力を要請されておられました。

今頃は、天国で戦友たちから「よくやってくれました。ありがとうございます」と笑顔で迎え

られていることと思います。

私も、残された我々の使命は何なのか、堀江先生のご遺志をどのように引き継ぐのかを念頭に置きつつ、議員連盟をしっかりと前に進めて参ります。

堀江先生、お疲れ様でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

堀江正夫先生を偲んで

渡邊 信之（駐 PNG 日本大使）

堀江正夫先生の御逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心から御冥福をお祈りいたします。

PNG と日本の友好関係増進を担うとする当館は、長年にわたり堀江先生から様々な御指導を頂いて参りました。改めて堀江先生の御功績に敬意を表するとともに、両国の関係発展に多大な御貢献を頂いたことに心から感謝申し上げます。

私自身、昨年 11 月に当地に赴任する直前に堀江先生にお会いし、日本と PNG に対する熱い思いをお伺いするとともに、特に先の大戦の戦没者の御遺骨収集への取組みについて、多くの御指導を賜りました。当地赴任後は、堀江先生の思いを胸に、ラバウルの「南太平洋戦没者の碑」とウエワクの「ニューギニア戦没者の

碑」を訪れ、当時の筆舌に尽くし難い厳しい日々をこの地で過ごされた方々を偲び、献花・黙祷を捧げて参りました。また、現地で慰霊碑を心温かく見守り、維持管理をしてくださっている方々に対して深謝の意をお伝えし、引き続きの御協力をお願いいたしました。

昨年 2 月に逝去された PNG 建国の父ソマレ元首相は、堀江先生に送られた書簡の中で、「戦没者の御遺骨を祖国に帰還させるためのあなたの情熱と決意に、私は感激しました」と記されました。我々も微力ながら、両国関係の増々の発展に向け、強い情熱と決意をもって、遺骨収集事業を始めとする様々な業務に取り組んで参りたいと思います。

堀江先生をしのんで

橋（岩崎）廣治（当協会 会長）

本年3月20日、堀江先生がお亡くなりになりました。僭越ではありますが、先生、本当にお疲れ様でした。

堀江先生の略歴、当協会への貢献につきましては会員の皆様は既にご存知と思われますので特に申し上げません。

正直に申しますと、個人的には協会の各種行事の折に、私は堀江先生にお会いできるかもしれない、と期待を高めていました。お会いして御挨拶するだけですが、それがいかに私の生命力を高めたかを説明するのは容易なことではありません。

最初に先生と親しくお話できたのは10年ほど前の事でした。パプアニューギニアの外務大臣が訪日した際に霞が関でレセプションがあったのですが、先生は成城から小田急線に乗り、代々木上原で千代田線に乗り換えて来たそうです。

私は当時60歳を超え大使として最後の仕事をしていました、身体的な老いを感じていました。しかし、先生は当時九六歳、背筋もピンと伸びており、成城から電車で霞が関まで来たとのこと。私も小田急沿線の経堂に住んでいますので、電車の混雑よりは良く知っていたのです。

世の中には凄い人がいると知ると同時に、私も、先生の足元にも及ばないことは分かっていますが、少しでも近づくよう努力し

たいと思った次第です。

堀江先生に御無礼も省みず、100歳を過ぎてもお元気な理由をお聞きしたことがあります。答えは有名な料理家である奥様の御料理とのことでした。また毎日欠かさない散歩もその理由の一つかもしれない、とのことでした。

先生は述べていませんが、私は、先生の使命感があったと思います。先生から何度か聞いた言葉で忘れられないのは、英霊の遺骨収集に関連して、「このままでは天国で戦友たちから堀江は百歳も生きて何をやっていたのか、と言われかねない。今後の遺骨収集の見通しをきちんとつけたい」とのことでした。

堀江先生は、若い時には帝国陸軍参謀として国のために尽くし、戦後は国の再建に尽力され、英霊の遺骨収集に尽くされました。

天国の戦友に恥じない貢献でした。どうかゆっくりと休まれてください。

今後の遺骨収集については協会の出来ることは限られていると思いますが微力を尽くしたいと考えております。

最後になりますが、100歳を超えても颯爽とされていた堀江先生の姿を我々は決して忘れることはありません。

当協会の堀江正夫名誉顧問が本年3月20日にご逝去されました。本ごらくちょうを追悼号として発行させていただくことといたしました。

堀江名誉顧問には協会設立当時より貴重なご助言や励ましを頂いて参りました。また多くの協会事業をご一緒させていただき、沢山を学ばせていただいて参りました。堀江名誉顧問によるTOKTOK会での講演では皆様に先の大戦の、特にニューギニア作戦について見地をお深め頂けたことと存じます。

令和に入り100歳を超えられた後も、陸上自衛隊中央音楽隊によるパプアニューギニア軍楽隊への演奏技術サポートや楽器の援助等の道筋を日本政府とご調整いただきました。

また昨年実施致しましたの田中富久子様（当会会員）とお二人によりますパプアニューギニア軍楽隊への演奏服の寄贈など、堀江名誉顧問が果たされたPNGへの援助、友好事業などは枚挙に遑がありませんでした。

堀江名誉顧問は遺骨収集、慰霊巡拝だけにとどまらず、実に多くのことで日本一PNGの友好の為御尽力されてこられました。余人をもって代えがたい事です。堀江名誉顧問が設立当時から当協会に寄せられた期待に応えるためにも、引き続き頑張る所存でございます。ご冥福をお祈り申し上げます。

協会事務局

皆様への感謝にかえて

高橋 正純（堀江名誉顧問 ご長男）

堀江正夫の長男の高橋正純です。

父が大変お世話になりました。

3月20日に眠るように亡くなりましたが、なんと3日前まで本原稿を書いていました。

ニューギニアでの戦いで散った英霊の遺骨収集の今後が心配で、数か月前から取り組んでいました。（完成しましたら、是非お読み頂きたいと思います）

遺骨収集と並んで父がよく口にしていたのは、当時の現地の住民の皆様の協力に対する感謝の気持ちです。

協会の皆様にも助けられながら、精一杯ニューギニアへの恩返しが出来たと思います。（本人はまだまだ不十分！と言うと思いますが・・・）

協会の益々のご繁栄と皆様のご健勝を祈念致しまして、私の感謝の言葉に変えさせていただきます。

渡邊 信之（駐 PNG 日本大使）

PNG では本年 1 月から新型コロナ感染が再び拡大していましたが、その第 4 波も 3 月から収束し始めたことを受け、3 月にはポートモレスビー市内や隣接するセントラル州、大洋州で最も美しい街とも言われるマダン州の日本の援助サイト（病院、学校、廃棄物処理場等）を訪問し、引渡し式への出席や現場の人々との意見交換を行い、多くの PNG の方々から日本への感謝の気持ちと引き続きの支援の必要性を伺いました。

各種コロナ規制が緩和され始めたことも踏まえ、国内商用便での出張も開始し、前述のマダン州に加え、東ニューブリテン州ラバウルの「南太平洋戦没者の碑」と東セピック州ウエワクの「ニューギニア戦没者の碑」に献花及び黙祷を捧げた他、モロベ州の PNG 第二の都市レイを訪問した際はレイ工科大学、ナザブ空港建設現場、PNG 太平洋セメント社、東ニューブリテン州ではオイスカのラバウル・エコテック研修センター、マヌス州ではマヌス島漁業センターを訪問・視察しました。また先

日、PNG 大学医学部の卒業式において祝辞を述べる機会を頂き、PNG の将来を担う有望な卒業生の方々と交流する場を得ました。

国内各地で日本との交流関係の発展に重要な役割を果たしている方々と直接お会いして伺った貴重なご意見を、一層の友好関係発展に向けた活動に活かしていきたいと思います。



南太平洋戦没者の碑



ニューギニア戦没者の碑



マラペ首相と（マヌス島漁業センター）

駐日 PNG 大使館情報

JICA Global Plaza PNG Exhibition in 2022

荻原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）

この度、JICA Global Plaza（地球ひろば）の市ヶ谷のオフィスにて、PNG のスペシャルイベントが開催される運びとなりました。地球ひろばは、国際協力関連の展示、イベント等を開催し、隔月にひとつの国を取り上げ、展示、セミナー、食の紹介等、月間特集として、各大使館の協力により、現在まで 50 か国以上の国の特集を開催されてきたそうです。今回はパプアニューギニアを取り上げて頂くことになりました。詳細は下記の通りです。

日程 2022 年 5 月 2 日～5 月 27 日

場所 東京都新宿区市谷本村町 10-5

JICA Global Plaza 03-3269-9090

内容 1 階フロア パネル、写真、DVD 民芸品、
民族衣装、などの展示

2 階フロア 25～30 枚の写真の展示など

その他、Zoom でのトークショーも開催され、オフィス内の J's Cafe にてパプアニューギニア料理もご賞味いただけます。

トークショーは 2 回開催され、サムソン・ヤボン参事官も出席される予定です。詳細は以下の通りです。

第 1 回

日程 5 月 11 日（水曜日）19:00-20:30

トピックス PNG の魅力と開発課題と自然、そして日本との関係

第 2 回

日程 5 月 22 日（日曜日）10:00-12:30

トピックス PNG の多様な伝統文化と自然、そして日本との関係

以上になります。

Zoom でのオンラインミーティングになりますので、詳細は JICA 地球ひろばのホームページをご参照くださいませ。

<https://www.jica.go.jp/hiroba/information/event/index.html>

日本 PNG 文化交流会が基礎日本語 DVD を日本語学習機関に贈呈

西山 肇（日本 PNG 文化交流会会長 / 当協会理事）

日本パプアニューギニア文化交流会（JPCEA：Japan - PNG Cultural Exchange Association）は2022年3月、基礎日本語 DVD を完成させパプアニューギニアの日本語機関に贈呈しました。両国の若者による国際交流の推進を目的に2020年1月に発足したJPCEA（会長西山肇。会員18名）にとって、初の成果物となりました。

このDVD制作は、新型コロナウイルス禍によりパプアニューギニアから若者が来日できなくなったため、日本語学習教材を作成し、贈呈することによって、来日の代わりにしてはどうか、またDVDは、今後、多目的に使えるのではないかという考えのもとに実施しました。

このDVDには二つの特徴があります。一つは日本に長く滞在し日本語が堪能なパプアニューギニア人のバハウ サイモン ピーター氏が講師をしていることです。パプアニューギニアの学習者は、親しみをもって基礎日本語に接することができます。第二に、このDVDは基礎から初級前半のエッセンスが約5時間で編集・紹介されていることです。効果的に使用すれば、初級後半へ早く移行でき、短期間で日本語能力試験に合格する学習者が出るのが期待されます。

DVD制作は初めてのことであり、想定外の苦労を経験しました。最終的には5時間17分に収まった動画の撮影はフルに8日、編集には30日を要しました。講師をして下さったバハウ氏と子夫人の二人三脚のご尽力なしには完成を見なかったことでしょう。感謝の念に堪えません。

DVDの内容が身につくためには講師の力量に加えて、学習者の意欲も必要となります。このDVDを生徒と鑑賞した国立アイユラ高校の日本語クラブの顧問は「教材だけでなくインセンティブがあれば学習者の定着が見込める」と考えています。

JPCEAは日本語学習環境の整備を市民レベルで支援することを活動の一つとしています。例えば文房具やポロシャツがもらえるならば、日本人が寄り添っているという気持ちが学習者の心の中に育めますから、それも学習環境の改善の一環といえましょう。DVDの完成をきっかけに、そうした支援もできれば良いと思います。

最後になりましたが、このDVDの制作に要した費用は三菱UFJ国際財団の助成金および学校法人仙台育英学園高等学校のご協力に拠っていますことをご紹介します、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、総合企画調整にあられたソグリー国立高校日本語学習センター所長石井靖也氏（国際開発学博士）のご努力に敬意を表します。

なお、JPCEAについてはURL：<https://sites.google.com/view/jpcea> をご参照下さい。



DVDを視聴する
ソグリー国立高校日本語学習センターの様子



DVDを視聴する
アイユラ国立高校の日本語クラブ



DVDを受け取る当協会
ポートモレスビー伊藤明德支部長（左）と
手渡すトニー・オンボソグリー
日本語センター所長代理

事務局からのお知らせ

令和4年度最初の「ごらくちょう」をお届けしました。

お知らせ：本年度の理事会、総会はコロナの影響が残り、残念ではありますが、本年も書面評決とさせていただきますことになりました。

懇親会につきましてはコロナの状況を見ながら、ゲストをお呼びしてできるだけ早い時期に開催したいと考えております。

さて 本号は当協会の設立時からご尽力を賜りました堀江名誉顧問の追悼号とさせていただきます。

私、個人として初めて堀江先生にご挨拶をさせていただいたのは35年以上前の事でした。私がニューギニア航空に入社した時、確か堀江先生はまさに参議院議員の先生でいらっしゃいました。参加されておられました多くの戦友の皆様は既にご逝去されましたが、東部ニューギニア戦友会の毎年恒例の正月の賀詞交換会は、いつも煙がもくもくの九段の

偕行社で活気の中で行われておりました。その当時から長きに渡り60を超えた私に「島田君」と今年に入りお会いした時まで常にお呼びいただけたことは、私にとってはとても名誉なことだと感じております。協会に多くの寄付もいただきました。期待もいただきました。協会にできる事はできる限り堀江名誉顧問の御意志を継いで参りたいと思う次第です。堀江先生の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

事務局長 島田謙三

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っています。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：23社 ◆ 個人会員：114名（2022年4月30日現在）

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン株式会社内
TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556 E-mail:info@jpng.or.jp URL:http://www.jpng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員6,000円 家族会員3,000円 法人会員60,000円 学生・PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ